

Sample

ブラックボックス化したジョブ定義からの脱却！ ジョブ定義の現状診断、 JP1のプロにお任せしませんか？

ジョブ定義の状態を可視化、レポート化する
JP1/AJS3ジョブ定義アセスメントサービスのご紹介



大規模・複雑化するジョブに悩まされるジョブ運用・開発の現場・・・

企業の基幹システムを支えるジョブ管理ですが、業務量に比例して、
ジョブは増加・複雑化を続けている上、深刻な人材不足により、
運用・開発工数の更なる削減や属人化の解消が急がれます。

※本資料内では、製品名称、サービス名称を以下のように省略して表記しております。

正式名称：JP1/Automatic Job Management System 3

略称：JP1/AJS3

ジョブ運用の現場をとりまく環境・問題

工数増加をひきおこす問題

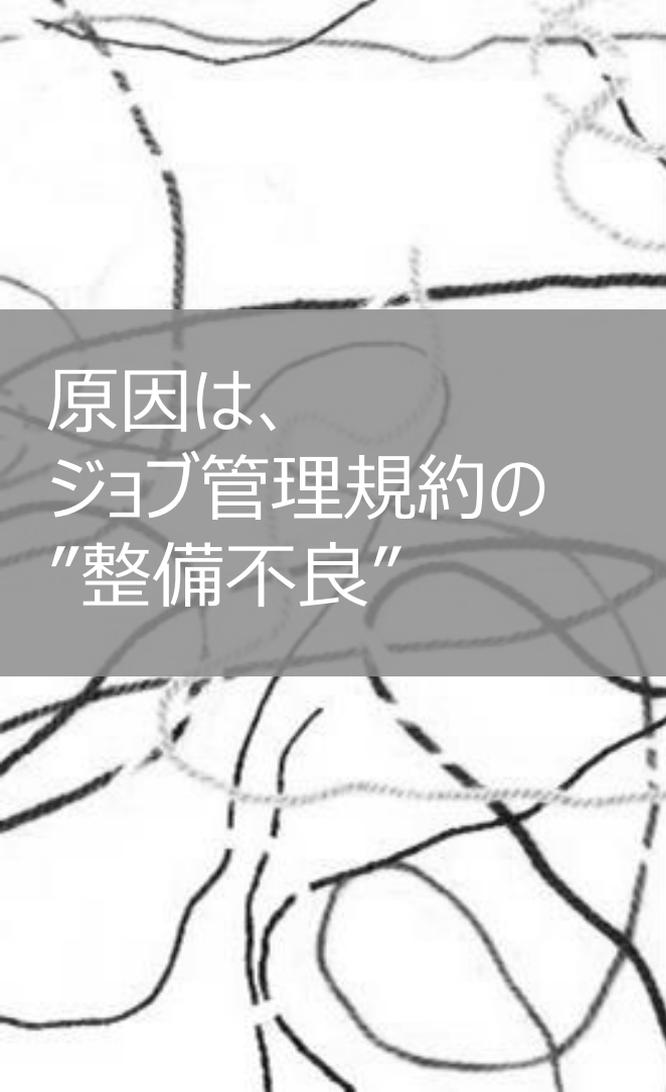


- ジョブが複雑化して管理が煩雑になっている
- JP1の機能が有効活用できず、機能で対応できる部分を人手で対応している
- ブラックボックス化により、工数削減する術がない
- 組織変更や担当者の異動時に、ドキュメント不備などで後任者がスムーズに業務を開始できない

停止リスクを招く問題



- ジョブ定義が複雑化して、ジョブの要・不要が判断できない
- 不要なジョブ定義が溜まり、JP1のデータベースを圧迫している
- ブラックボックス化により、障害時の原因特定に時間がかかる
- 何かあったときに対応できる人が限られている



原因は、
ジョブ管理規約の
“整備不良”

独自ルールの蔓延でジョブがブラックボックス化

ジョブ管理規約が無い、もしくは形骸化・陳腐化したままでジョブ運用・開発を続けると、担当者や部署ごとの独自ルールが蔓延し、ジョブ定義がブラックボックス化してしまいます。

そこに加えてドキュメントの不備(更新不足)や引継ぎ不足があると、後任の担当者が“怖くて触れない”、“改善しようにも手がつけられない”ままで、ジョブの現場で起きている問題は解消されません。

解決のための3つのプロセス

問題を解消するためには、ジョブ管理規約を整備し、最適化する必要があります。そこでアシストでは、3000社を超えるJP1導入実績で得たナレッジやノウハウをもとに、ジョブ管理を最適化するための「3つのプロセス」をご紹介します。

ジョブ定義を“可視化”



現状のジョブ定義やジョブ管理規約の遵守状況がどうなっているかを把握します。そのためには、JP1/AJS3の環境情報(ジョブ定義やエージェント定義など)、ログ情報、システム情報などを取得し、それらを分析します。

ジョブ管理規約を“標準化”



次に、分析で明らかになったジョブ定義やジョブ管理規約の問題点を解消するため、ジョブ管理規約を整備します。(標準化) 守るべきルールを明らかにし統制することは、適切なジョブ管理を実現する上で重要です。

ジョブ定義を“最適化”



最後に、標準化した管理規約にあわせ、ジョブ定義を修正していきます。(最適化) 複雑化・ブラックボックス化していたジョブが整備され、運用工数の削減や遅延/停止のリスクの低減が可能です。



動いているから
このままで良い？

とりあえず動いているから・・・が、招くリスク

問題を解決したいが、

- ・時間がとれない
- ・分析するためのノウハウが少ない
- ・ジョブ定義変更がおよぼす影響がわからない

Sample
という理由で現状を維持するケースも少なくありません。

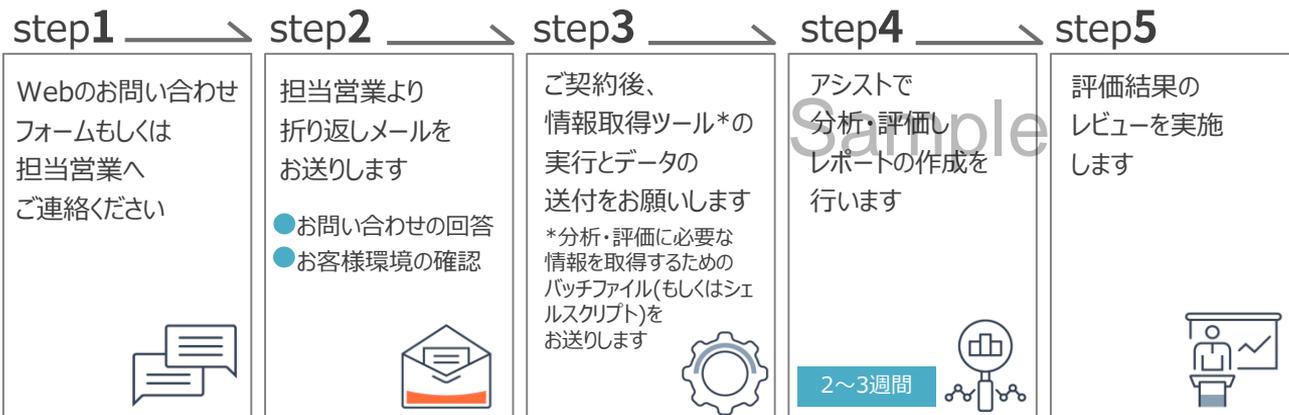
しかし、「とりあえず動いているから」と、問題をそのままにしておくと、
必要以上の運用工数がかかりつつけるだけでなく、
ジョブの遅延・停止によるビジネス損失の恐れがあります。

そこでアシストでは、「プロセス1」にあたる、
お客様のJP1ジョブ定義情報から、ジョブ管理規約の整備、遵守状況を
可視化、レポート化するサービスをリリースしました。

JP1/AJS3ジョブ定義アセスメントサービスとは

JP1/AJS3ジョブ定義アセスメントサービスとは、お客様のJP1ジョブ定義情報から、ジョブ管理規約の整備、遵守状況を可視化、レポート化するサービスです。現状の可視化に加え、ジョブ管理規約の標準化に向けた具体的なアドバイスもお渡しします。

サービスの内容、流れ



価格

¥240,000(税別)

・評価/分析対象のジョブ定義は、1回あたり1スケジューラサービスで20,000ジョブを前提としています。

レポート作成にあたりご提供いただく情報

弊社で準備した情報取得ツール（バッチファイル／シェルスクリプト）で必要な情報を簡単に取得していただけます。
煩雑な作業は不要、専門知識も不要です。

JP1環境情報

- ・ジョブ定義
- ・エージェント定義
- ・ジョブ実行登録状況
- ・JP1ユーザ定義情報
- ・共通定義情報
- ・イベントDB

ログ情報

- ・統合トレースログファイル
- ・スケジューラログファイル

その他

- ・システム情報

設計ドキュメント（既存）

- ・ジョブ管理規約書
- ・ジョブ開発規約書

※環境に合わせた情報取得ツールのご提供のため、事前に環境情報をご提供いただきます。

※情報取得前にログファイルにご要望の分析期間の情報が残っているか確認させていただきます。

※ジョブ運用に大きな影響はありませんが、ジョブ稼働の少ない時間帯で取得いただきます。

※ログサイズやジョブ定義量にもよりますが、情報取得ツールはおおよそ5分～15分程度の時間がかかります。

サービス提供の前提条件、注意事項

- ・アシストとの保守契約を締結もしくは検討中のお客様を対象としたサービスです。
- ・本サービスで対応しているJP1製品バージョンは、Version9～Version13です。
- ・納品物である分析/評価レポートは、アシストの標準フォーマットでのご提供となります。

Sample

Sample

JP1/AJS3ジョブ定義アセスメントレポート

超サポ
愉快カンパニー

アシスト



Sample

1. 基本情報

超サポ
愉快カンパニー

アシスト

基本情報

お客様基本情報

1	お客様	XXX株式会社
2	システム名	XXXXシステム (XX環境)
3	窓口ご担当	XXX様
4	JP1保守契約先	アシスト
5	ログ取得日	YYYY年MM月DD日

ジョブ実行環境情報

Sample

1	ジョブマネージャホスト名	本番 : XXXXX
2	OS環境	Windows Server 2012 R2
3	JP1環境	JP1/Base : XXXX JP1/AJS3-Manager : XXXX
4	クラスタ環境	あり/なし
5	仮想環境	あり/なし

ジョブ定義情報

1	ユニット総数	XX件
2	ジョブグループ総数	XX件
3	ジョブネット総数	XX件
4	ジョブ総数	XX件



Sample

2. レポートサマリ

超サポ
愉快カンパニー

アシスト

レポートサマリ

サマリスライドでジョブ定義の健全性を
わかりやすくレポートします。

注  ユニット定義共通 12pt / 18pt

良  ユニット定義個別 13pt / 14pt

良  スケジュール設定 6pt / 6pt

良  ジョブ運行設定 6pt / 6pt

※各評価ポイントごとに優良=2pt、注意あり=1pt、危険=0ptで
算出し、評価カテゴリごとの割合を算出し評価を実施。

100%-80% = 優良、79%-50%=注意、49%以下=危険の判定。

総評

全体の総評として、ジョブ管理の規約/規定を設けて各種
ユニットが管理されており、運用/保守性、視認性、管理
面で大きな懸念、リスクは無い状態と言えます。

特に、スケジュール及び、ジョブ運行関連の設定について、
弊社の評価観点では、大きな問題も見受けられず、健全
な状態となっていました。

一方、**ユニット定義の共通項目については、不要な定義
の精査や一部パラメータの追加規約の検討にて、
さらに標準化できる箇所**がいくつか見受けられました。

次頁以降のアセスメント結果詳細を参考に、検討頂くこと
をお奨めします。



Sample

3. ユニット定義共通

超サポ
愉快カンパニー

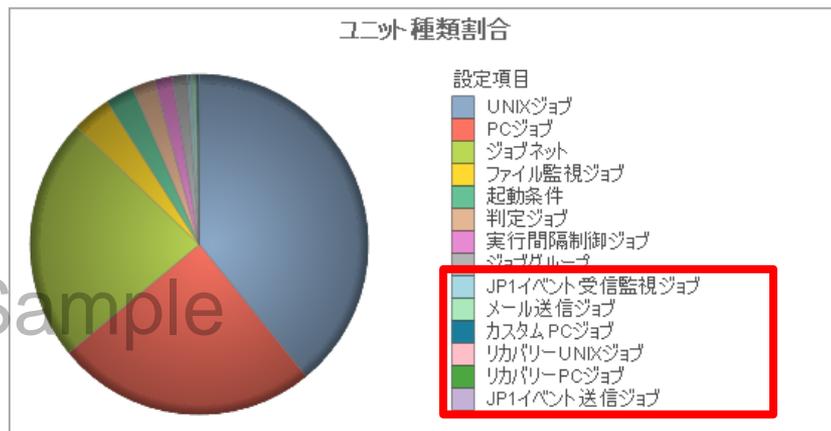
アシスト

ユニットの種類

利用するユニットの種類や階層数など、視認性やジョブ稼働に影響のある項目を評価します。

対象環境で利用しているユニットの種類を、以下に纏めています。

設定項目	件数	割合
UNIXジョブ	8939	100%
PCジョブ	5698	100%
ジョブネット	5277	100%
ファイル監視ジョブ	852	100%
起動条件	624	100%
判定ジョブ	488	100%
実行間隔制御ジョブ	398	100%
ジョブグループ	327	100%
JP1イベント受信監視ジョブ	94	100%
メール送信ジョブ	93	100%
カスタムPCジョブ	58	100%
リカバリーUNIXジョブ	7	100%
リカバリーPCジョブ	3	100%
JP1イベント送信ジョブ	1	100%



規定/規約策定上の検討ポイント及び、推奨

- ・定常的に利用するユニットと例外的に利用するユニットの種類の振り分けができていないか。
- ・特殊な種類のユニットについて、禁止ルールが設けられているか。
- ・ジョブネット内で複数種類のユニットを複雑に組み合わせた作り込みが発生していないか。

全体の割合から、定義数の少ないユニットが6種類ありました(赤枠部分)。

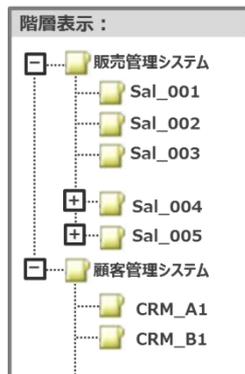
利用状況と用途を確認のうえ、ジョブ管理規約として例外/禁止の対象とするか、検討をお奨めします。

注



ユニット階層（階層数）

対象環境で定義されているユニット階層の状況を、以下に纏めています。



▼対象ユニット一覧

ユニット完全名	階層数 /
/販売管理システム/Sal_001/Sal_001_Sub01/RN_SALD001/NN_SALD001...	11
/販売管理システム/Sal_001/Sal_012_Sub01/RN_SALM012/NN_SALM001...	11
/顧客管理システム/CRM_001/CRM_001/RN_CRMW001/NN_CRMW001...	10
/顧客管理システム/CRM_002/CRM_002/RN_CRMD001/NN_CRMD001...	10
/販売管理システム/Sal_001/Sal_001_Sub02/RN_SALQ001/NN_SALQ001...	9

階層数（最大）：11階層

規定/規約策定上の検討ポイント及び、推奨

- ・ユニット階層が深くなり過ぎていないか。（視認性の観点から、目安は上位から10階層が上限）

ユニット階層（階層毎のユニット種類）

対象環境で定義されているユニット階層の状況を、以下に纏めています。

▼対象ユニット一覧

ユニット名	ジョブグループ有無	ジョブネット有無
第1階層	○	—
第2階層	○	—
第3階層	○	○
第4階層	○	○
...		
第5階層	—	—

Sample

規定/規約策定上の検討ポイント及び、推奨

- ・ユニット階層毎に、利用するユニットの種類が統一されているか。（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）

約80%と大半は第6階層までの定義ですが、一部のユニットが第11階層まで定義されています。

ジョブグループは最大で第5階層、ジョブネットは最大で第10階層で、一部を除き、階層毎のユニット種類は統一されています。視認性と日々の運用オペレーション（リカバリなど）の標準化のために、階層数及び、各階層で利用するユニット種類の見直しと再ルール化をお奨めします。

注



サンプルはここまでです。
全てのサンプルレポートをご覧になりたい方は
ダウンロードボタンよりダウンロードしてください

資料をダウンロード



※本資料に記載している情報は、2024年5月現在のものです。
※本資料の内容は、今後予告なく変更されることがあります。
※文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

株式会社アシスト

TEL : 03-5276-5565 Mail : sk_info@ashisuto.co.jp